

平成29年6月20日

第四管区海上保安本部

広報資料

【広報案件】

- (1) 「巡視船いすず人命救助訓練」公開！
～「海猿」の訓練を見てみませんか？～
- (2) 名古屋の玄関口「名古屋港」のすごさを海上から感じてみませんか！
～巡視船いすず体験乗船～
- (3) 夏季の海の事故ゼロ推進活動について

【お知らせ】

- (1) 平成29年5月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）
- (2) 平成29年度 海上保安学校・大学校学生採用試験のお知らせ
- (3) 「リアルな海上保安庁を肌で感じよう！」

【問い合わせ先】

警備救難部救難課

救難課長 惣坊 正

電話 052-661-1611（内線 3250）



平成29年6月20日
第四管区海上保安本部

**「巡視船いすず人命救助訓練」公開！
～「海猿」の訓練を見てみませんか？～**

巡視船いすず（別紙参照）の海猿（潜士）が人命救助訓練を市民の皆さんに公開します。
また、訓練終了後、救難資器材の展示や救命胴衣試着体験、業務説明等を行います。

1. 日時

平成29年7月1日（土）13:30～14:20（訓練） 14:30～15:30（資器材展示）

2. 場所

名古屋港ガーデンふ頭3号岸壁（ポートビル南側）（別紙参照）

3. 人命救助訓練

貨物船が浅瀬に座礁し、衝撃で乗組員が海に転落。118番通報により出動した潜士等が海中転落者及び座礁船に取り残された乗組員の救助に当たるという想定で訓練を実施します。

【海中転落者救助訓練】

- ◆ 潜士2名が岸壁から海面に飛び込み男性を確保し救助用ボートに引き上げます。
- ◆ 潜士はそのまま座礁船の船首から垂らされたロープを登り、船内に取り残された乗組員の救助に向かいます。

【ブリッジ救助訓練】

- ◆ 岸壁に到着した救助班が「もやい銃」を発射しブリッジ索（救助用ロープ）を座礁船へ渡します。
- ◆ ブリッジ索を人力で引っ張り、取り残された乗組員はブリッジ索を通じて搬送し救出します。



4. 救難資器材展示

救難資器材を展示し、潜士等により見学者の皆さんへ説明を実施するほか、救命胴衣の展示や着用体験を実施します。

5. 取材申し込み

別紙「取材申込書」にて、ご連絡をお願いいたします。

申込先：第四管区海上保安本部広報地域連携室（電話 052-661-1611 内線 2117）

申込締切：平成29年6月29日（木）15:00 まで

集合日時・場所：平成29年7月1日（土）13:20 名古屋港ガーデンふ頭3号岸壁

○巡視船いすず（救難強化巡視船）



（総トン数335トン 全長56メートル 鳥羽海上保安部所属）

○訓練等場所



(別紙)

「巡視船いすず人命救助訓練公開(7/1)」 取材申込書

【取材参加】

ご社名

ご芳名

※お手数ですが取材に来られる方全員のお名前を記入してください。

連絡先

FAX送付先 052-661-1620
メールアドレス jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp
6月29日(木) 15:00締め切り

【問い合わせ先】

総務部総務課

地域広報連携室長 生田 保隆

電話 052-661-1611（内線 2111）



平成29年6月20日
第四管区海上保安本部

名古屋の玄関口「名古屋港」のすごさを 海上から感じてみませんか！

～巡視船いすず体験乗船～

中部圏の物流拠点として、総取扱貨物量等全国第1位である名古屋港には、船舶の安全な運航を支援する名古屋港海上交通センターや、各種ふ頭など見所がたくさんあります。

今回は、これらを海上保安友の会等、当庁を日頃からバックアップしていただいている方々と、名古屋港記者クラブの皆様にご覧いただく機会をセットいたしました。

「巡視船いすず」（鳥羽海上保安部所属）で、巡視船業務の一端を見ていただくとともに、物流拠点である名古屋港の海上安全を支える業務や機能に理解を得て、広く発信していただきたいと考えています。

- 1 日時
平成29年7月2日（日）13：00から14：30まで（約90分間）
- 2 集合場所
名古屋港ガーデンふ頭3号岸壁（ポートビル南側）
- 3 集合時間
平成29年7月2日（日）12：30

<取材申し込み等>

別紙「取材申込書」にて、ご連絡をお願いいたします。

申込先：第四管区海上保安本部広報地域連携室（電話 052-661-1611 内線 2117）

申込締切：平成29年6月27日（火）17：00まで

* 雨天の場合は中止といたしますが、「巡視船いすず一般公開」を実施します。



鳥羽海上保安部 巡視船いすず



(別紙)

「名古屋の玄関口「名古屋港」のすごさを海上から感じてみませんか！」
～巡視船いすず体験乗船～ (7/2)取材申込書

<取材参加>

ご社名

ご芳名

ご連絡先

ご芳名

ご連絡先

* 申込み多数の場合は、幹事社を通じて調整させていただきます。

FAX送付先 052-661-1620

メールアドレス jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp

6月27日(火) 1700締め切り

【問い合わせ先】
交通部安全対策課
安全対策課長 間部 政道
電話 052-661-1611（内線 2640）



平成29年6月20日
第四管区海上保安本部

夏季の海の事故ゼロ推進活動について

例年7月から8月にかけては、マリンレジャー活動が活発になり事故が増加することから、第四管区海上保安本部では、夏休みを迎える7月16日から8月31日の間、様々な安全推進活動を展開します。

<活動名称>

- 海の事故ゼロキャンペーン（全国一斉 官民一体の運動）
実施期間 平成29年7月16日（日）～7月31日（月）
- 夏季安全推進活動（海上保安庁全体の取組み）
実施期間 平成29年8月1日（火）～8月31日（木）

<活動における重点事項>

- 1 小型船舶（プレジャーボート・漁船・遊漁船）の事故防止
- 2 マリンレジャー（遊泳・釣り・サーフィンなど）活動中の事故防止
- 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
- 4 船舶における見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

<主な活動内容>

- 1 事故防止に関する指導、教育活動
訪船指導、海上パトロール、海難防止講習会、小学校等での安全教室等
- 2 広報活動
テレビ、ラジオ、新聞、広報誌、ホームページ等を通じた周知、高速道路サービスエリア・道の駅等での安全啓発
- 3 各種行事等
※管内の主な行事等は別添を参照してください。

主な行事等

1 行事

実施日	実施事項	実施内容	問い合わせ先
7月16日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）及び海洋少年団、巡視艇による合同海難防止啓発活動	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、巡視艇による合同海難防止啓発活動（英虞湾）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月17日	巡視艇「あゆづき」一般公開	豊橋みなとフェスティバルにおいて、巡視艇「あゆづき」の一般公開、専用ブースを設けた海難防止啓発活動。	三河海上保安署 電話 0532-34-0118
7月17日	一日港長等任命式 安全パトロール艇出艇式	豊橋みなとフェスティバルにおいて、一日港長・一日船長等の任命式、安全パトロール艇による出艇式の実施	第四管区海上保安本部 電話 052-661-1611
7月29日	安全啓発活動	伊勢自動車道（安濃SA）において四日市・鳥羽海上保安部の合同による海浜事故防止啓発活動	四日市海上保安部 電話 059-357-0118 鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月下旬	安全啓発活動	尾鷲おさかな市場と、紀北パーキングエリアにおける安全啓発活動	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月下旬	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、による合同海難防止啓発活動（伊勢・鳥羽地区）	鳥羽海上保安部 電話 059-357-0118
8月6日	一日港長等任命式 安全パトロール艇出艇式	四日市みなとまつりにおいて、一日港長・一日船長等の任命式、安全パトロール艇による出艇式の実施	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
8月中旬	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、巡視艇による合同海難防止啓発活動（五ヶ所湾）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303



【安全啓発活動】



【海上パレード】

2 講習会

実施日	実施事項	実施内容	問い合わせ先
6月26日	安全講習会	着衣泳及びライフジャケットの着用に関する講習会（大紀町立大紀小学校）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月6日	安全講習会	ライフジャケットの着用等に関する講習会（豊橋市牟呂小学校）	三河海上保安署 電話 0532-34-0118
7月9日	安全講習会	新舞子ポートパーク利用者に対する安全講習会	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月11日	安全講習会	着衣泳及びライフジャケットの着用に関する講習会（常滑市立鬼崎北小学校）	中部空港海上保安航空基地 電話 0569-38-8118
7月13日	安全講習会	着衣泳及びライフジャケットの着用に関する講習会（尾鷲市立矢浜小学校）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月14日	安全講習会	着衣泳及びライフジャケットの着用に関する講習会（紀北町立三浦小学校）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月16日	安全講習会	海の体験学習における救命胴衣着用等の安全講習会（美浜町立河和小学校5、6年生徒26名）	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月18日	安全講習会	着衣泳及びライフジャケットの着用に関する講習会（尾鷲市立宮之上小学校）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月19日	安全講習会	ライフジャケット着用等に関する安全講習会（黒潮学園）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月19日	安全講習会	熊野灘遊漁船等安全協会総会にあわせての安全講習	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月26日	安全講習会	伊勢市大湊地区の小学生を対象としたライフジャケット着用方法等の海上安全教室	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月30日	安全講習会	プレジャーボートの集いにあわせての遵守事項の講習	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月中	安全講習会	NTPマリーナ高浜（安全推進マリーナ）職員及び利用者への安全講習会	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
8月18日	安全講習会	遊漁船業務主任者に対する安全講習会	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615



【ライフジャケット着用講習会】



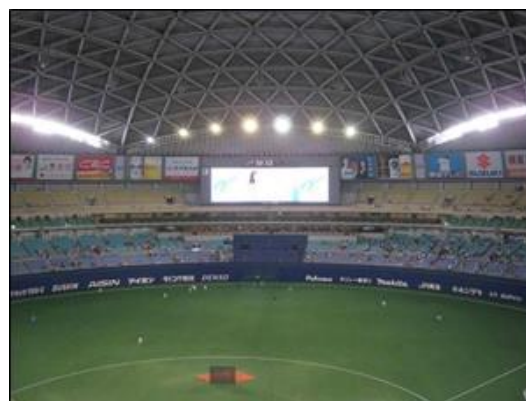
【小型船舶免許更新時の安全講習】

3 その他期間中の取組み

実施日	実施事項	実施内容	問合せ先
7月10日	専門誌への投稿	地域密着型マリン情報誌「ハイビッチ」への運動内容の掲載	第四管区海上保安本部 電話 052-661-1611
7月16日	広報普及活動	河和港名鉄海上観光船利用客に対する啓発活動 横断幕の掲示 リーフレット等の配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	名古屋港水族館大型スクリーンによる広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	ナゴヤドームにおける電光掲示板による広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	三河港務所フェンスに横断幕の掲示	三河海上保安署 電話 0532-34-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	離島を管轄する市町広報誌掲載による広報	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	管内の漁協・マリーナ等へのポスター・リーフレット配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視艇桟橋への横断幕の掲示による広報	中部空港海上保安航空基地 電話 0569-38-8118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視艇への横断幕の掲示による広報	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視艇への横断幕の掲示による広報	三河海上保安署 電話 0532-34-0118
7月16日～ 7月31日	エリアトーク（無線放送）を活用した啓発活動	篠島漁協及び日間賀島漁協からの海難防止啓発放送にあわせ篠島小学校及び日間賀小学校児童からの家族への安全の願いを込めたメッセージの放送	第四管区海上保安本部 電話 052-661-1611
7月21日	広報普及活動	西尾市営渡船利用客に対する啓発活動 横断幕の掲示 リーフレット等の配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999



【名古屋港水族館での周知映像放送】



【ナゴヤドームでの周知映像放送】

※ 取材申し込み及び詳細につきましては、各担当保安部署へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

交通部安全対策課

安全対策課長 間部 政道

電話 052-661-1611（内線 2640）



平成 29 年 6 月 20 日
第四管区海上保安本部

平成 29 年 5 月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

1 船舶事故

- (1) 5月の船舶事故は13隻（前年13隻）で、これら事故に伴う死者・行方不明者の発生はありませんでした。
- (2) 船種別では、プレジャーボートが10隻、漁船、遊漁船及びタンカーがそれぞれ1隻となっています。
事故種類別では、運航阻害が4隻、衝突及び浸水が2隻、乗揚、推進器障害、舵障害、機関故障及びその他が1隻となっています。
- (3) 船舶事故13隻中、小型船舶が12隻と多くを占めました。
小型船舶の事故では、魚釣り目的で港を出港するも、荒天のため港に引き返そうとした際、波の打ち込みにより浸水し、転覆するといった事故などが発生しています。
- (4) 今年5月までの船舶事故の累計は57隻（前年43隻）で、前年に比べ14隻増加しています。

2 人身事故

- (1) 5月の人身事故は25人（前年15人）で、これら事故に伴う死者・行方不明者は12人（前年6人）でした。
- (2) 事故の内訳としては、乗船者の人身事故が8人（前年2人）、マリンレジャーに伴う海浜事故は5人（前年5人）、マリンレジャー以外の海浜事故が12人（前年8人）となっています。
- (3) 乗船者の人身事故では、プレジャーボート及び小型漁船からの海中転落で2人が死亡しています。
マリンレジャーに伴う海浜事故では、サーフィン中の溺水による死亡事故や、夜間に防波堤で釣り中、スマートフォンを見ながら歩いていて、足を踏み外し、海中に転落するといった事故などが発生しています。
- (4) 今年5月までの人身事故の累計は71人（前年62人）で、前年に比べ9人増加しています。

【問い合わせ先】

総務部人事課

人事課長 和田 尚樹

電話 052-661-1611(内線 2130)



平成29年6月20日
第四管区海上保安本部

平成29年度 海上保安学校・大学校学生採用試験のお知らせ

海上保安庁では、平成30年4月入校の海上保安学校・海上保安大学校学生の採用試験を別紙のとおり実施します。

今回の採用試験から海上保安学校においては、船舶交通の管制業務を担う管制課程が新設（採用予定 約20名）されます。



海上保安学校（京都府舞鶴市）

海上保安官として、必要な学術及び技能を教授し併せて心身の錬成を図ることを目的として設置された海上保安庁の教育機関です。

5課程3コースが設けられ、実践的な授業で各分野のエキスパートを育てています。

教育期間は課程により1年と2年に分かれています。



海上保安大学校（広島県呉市）

将来の幹部海上保安官として、必要なリーダーシップ及び学術・技能を教授し併せて心身の錬成を図ることを目的として設置された海上保安庁の教育機関です。

教育期間は、本科4年、専攻科（遠洋航海実習等）6ヶ月の合計4年6ヶ月で、卒業時には学士号（海上保安）が授与されます。

別紙

平成29年度 採用試験予定表

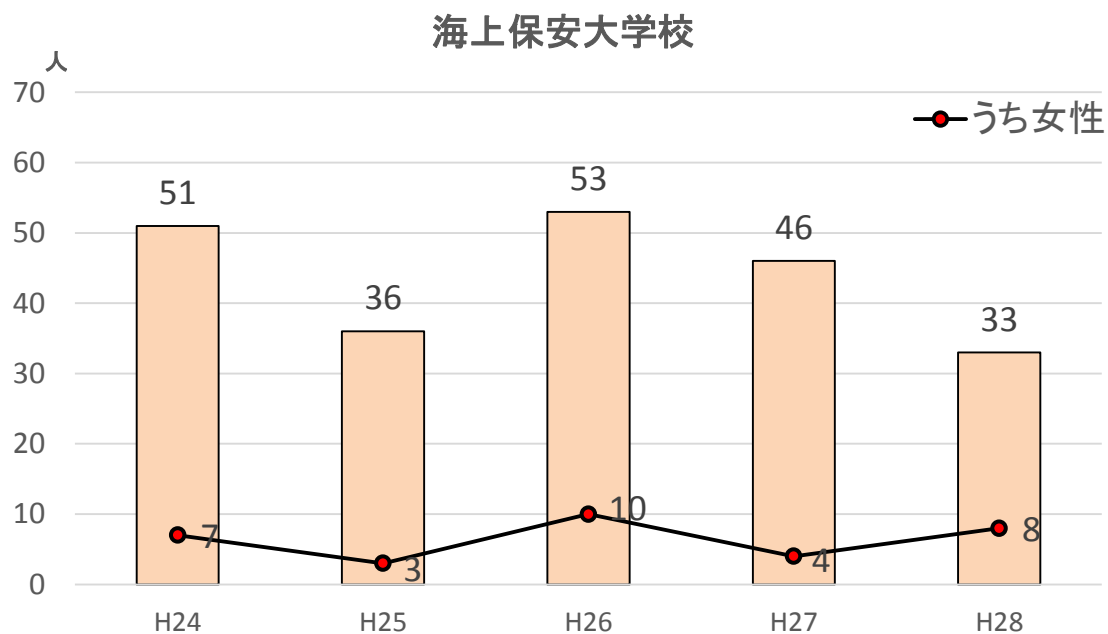
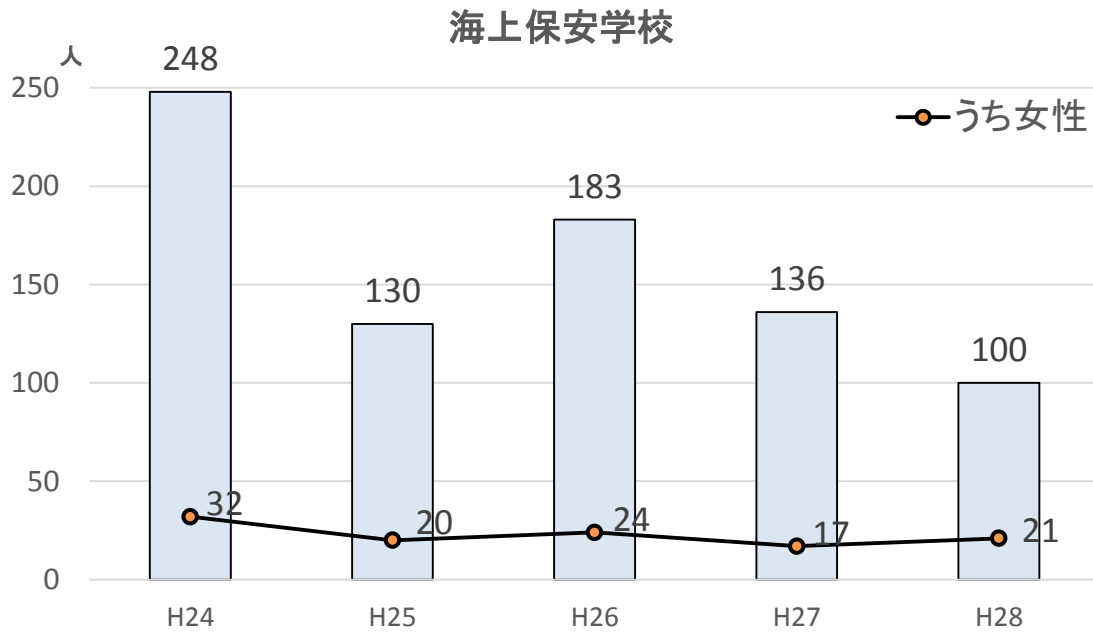
	海上保安学校	海上保安大学校
受付期間	H29.7.18(火)～H29.7.27(木) (インターネット申込) H29.7.18(火)～H29.7.20(木) (郵送又は持参申込)	H29.8.24(木)～H29.9.4(月) (インターネット申込) H29.8.24(木)～H29.8.28(月) (郵送又は持参申込)
第1次試験	H29.9.24(日)	H29.10.28(土)、H29.10.29(日)
1次合格発表	H29.10.11(水)	H29.12.8(金)
第2次試験	H29.10.17(火)～H29.10.26(木)	H29.12.15(金)
最終合格発表	H29.11.21(火) (航空課程のみ2次合格者発表)	H30.1.18(木)
第3次試験 (航空のみ)	H29.12.2(土)～H29.12.10(日)	-
最終合格発表 (航空のみ)	H30.1.18(木)	-
採用予定日	H30.4	H30.4
採用 予定者数	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶運航システム 約185名 ・航空課程 約10名 ・情報システム課程 約60名 ・管制課程 約20名(新設) ・海洋科学課程 約15名 (H28：船舶約215名、航空約10名 情報約60名、海洋約15名)	約60名 (H28：約60名)
修業期間	1年(情報システム課程・管制課程は2年)	本科4年・専攻科6月

※ 採用予定者数の括弧内は平成28年度の数です。

※ この募集に関する詳細は、海上保安庁のホームページ
 (http://www.kaiho.mlit.go.jp/) をご覧いただくか、第四管区海上保安本部総務部人
 事課(電話 052-661-1611)までお問い合わせ下さい。

第四管区 過去5年間の受験申込状況

(平成24年度～平成28年度)



【問い合わせ先】

中部空港海上保安航空基地
管理課長 田中 孝
電話 0569-38-8118



平成29年6月14日
第四管区海上保安本部

「リアルな海上保安庁を肌で感じよう！」

中部空港海上保安航空基地では、現在、東海3県（愛知、岐阜、三重）に在住し、将来海上保安官を目指す方を対象に、下記のとおり体験型業務説明会を計画しており、参加者を募集しています。

1 日時

平成29年7月8日（土） 午後1時～午後5時

2 場所

中部空港海上保安航空基地（愛知県常滑市セントレア1-2）

3 対象者

東海3県（愛知、岐阜、三重）にお住まいの高校生、専門学校生、大学生等54人（応募多数の場合は抽選となります。）

4 実施内容

当基地において、所属巡視艇いせゆき及びヘリコプターの見学を行うほか、潜水士による救難展示訓練の見学など現場業務を体験する。

5 申込期限

平成29年6月26日（月）消印有効

（申込方法については、「第四管区海上保安本部ホームページ」をご覧ください。）

ホームページアドレス：<http://www.kaiho.mlit.go.jp/04kanku/>

6 取材

格納庫内での見学の様子が取材可能です。取材を希望される場合は、平成29年7月7日（金）午後3時までに中部空港海上保安航空基地管理課へFAX(0569-35-0889)にて連絡いただくようお願いいたします。

◆◆中部空港海上保安航空基地◆◆

1 所属ヘリコプター（アグスタ式139型機）



2 PC型巡視艇いせゆき



【中部空港海上保安航空基地 体験型業務説明会 取材申込書】

中部空港海上保安航空基地 管理課 行

FAX 0569-35-0889

(締め切り:平成29年7月7日(金) 午後3時)

御社名

ご芳名

ほか 名

連絡先(会社)

連絡先(携帯)

※当日の取材については、午後1時15分までに中部空港海上保安航空基地へお越し下さい。また、取材中は、報道機関であることが分かる腕章の着用をお願いします。

